

苫前町こども家庭センターを開設しました

～ 妊娠期から18歳までのすべての子育て家庭を応援します ～

令和8年10月から苫前町役場内に「こども家庭センター」を開設しました。

産前産後の身体や心のこと、育児の不安やお子さんに関する悩みなど、「誰かに話を聞いてもらいたい」「どこに相談してよいかわからない」、そのように思うことがあったら、ひとりで悩まず、ぜひ「こども家庭センター」へお気軽にご相談ください。

○ こども家庭センターってなに？

こども家庭センターは、妊娠・出産・子育てに関わる相談窓口です。苫前町の保健師や児童福祉担当職員が、さまざまな相談や悩みをお聞きし、一人ひとりに寄り添った支援や情報提供を行います。

対象は、妊娠婦や0歳から18歳までの子ども本人とその保護者や家族です。

相談方法は、来所による面談と電話相談になります。来所相談につきましては、センター職員が不在の場合もありますので、事前にご連絡をお願いします。

【お問い合わせ】

苫前町こども家庭センター（苫前町保健福祉課内） TEL：0164-64-2215

○ こども家庭センターになって、なにが変わるの？

母子保健と児童福祉の相談窓口がひとつになり、妊娠から出産、就学、進学と切れ目のない一体的な支援が受けられるようになります。担当スタッフはこれまで通りですので、安心してご相談ください。

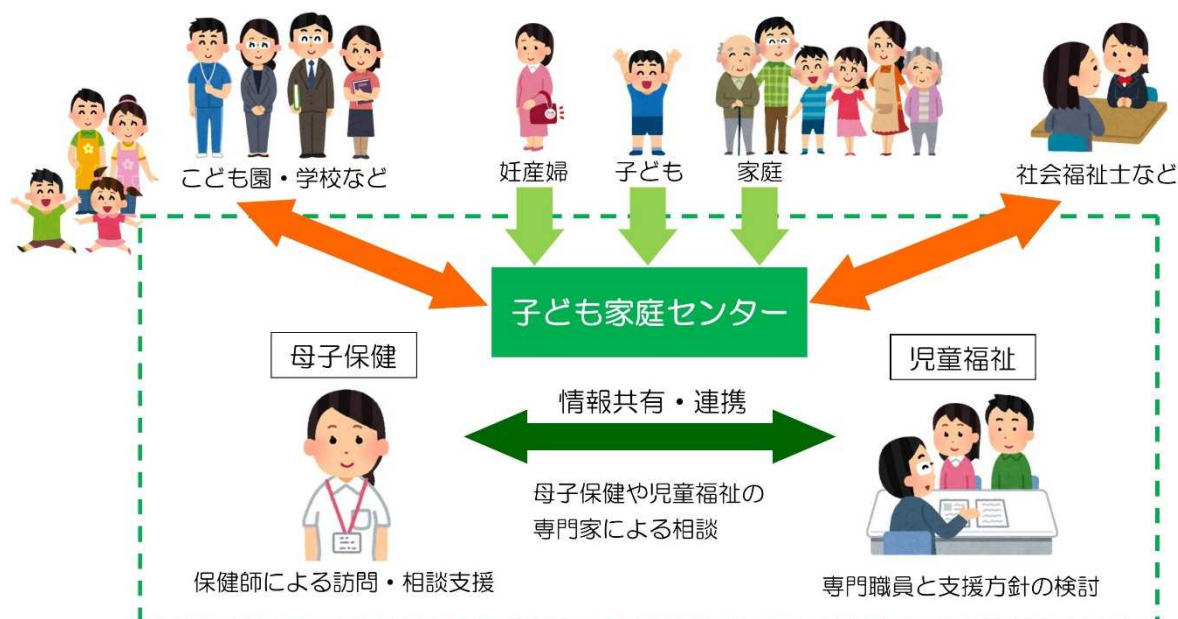
・対応の強化

母子手帳交付時の面接、出産後の家庭訪問から入園、入学、進学と切れ目なく関係機関で情報を引き継ぎ、子どもや保護者が安心して次のステップに進めるよう、サポートプランをともに作成し支援します。

・他機関との連携

相談内容に合わせて、適切なサービスや関係機関に円滑につながります。

妊娠婦や子どもとその親や家族にとって、「どこに相談しても、健康と生活の両面から専門職が連携してサポートしてくれる体制」を目指します。



○ こども家庭センターでのサポート例

～こんな悩みはありませんか～

妊娠・出産期

- ・初めての妊娠・出産で不安…
- ・つわりで思うように食事が摂れない
- ・思いがけず妊娠してしまい戸惑っている
- ・他の妊婦さんと交流したい

～こんなサポートをしています～

母子健康手帳の交付の際に話を聞き、困りごとや悩みごとのある人には継続してサポートします。計3回の面談で、出産前の体調確認や不安などの相談に対応します。

＜主なサポート例＞母子健康手帳の交付・妊婦健診・妊娠中の相談・ラッコクラブ（両親教室）

乳児期

- ・赤ちゃんが泣いてばかり、どうしたらいいの？
- ・母乳やミルクは足りている？
- ・慣れない育児で気が休まらない
- ・出産後、気分が落ち込んでしまう
- ・子育てについて心配ごとや悩みがある

保健師が家庭訪問し、母子の体調確認や育児の相談に応じます。訪問や通所型の産後ケア事業で、助産師から専門のケアを受けたり、健診や子育てサロンで栄養士に相談することができます。

＜主なサポート例＞赤ちゃん訪問・乳幼児健診・産後ケア事業・ラッコクラブ（乳児教室）

子育て

- ・育て方に自信がない
- ・子どもの発育の遅れが気になる
- ・イライラして子どもをきつく叱ってしまう
- ・高学年になっても夜尿がつづいている
- ・登校しぶりがあり、対応に悩んでいる
- ・授業についていけないようだ
- ・仕事と子育ての両立が難しい

子どもの成長に応じて生じる、さまざまな悩みや不安の相談に対応し、内容に応じて、必要なサービスの紹介や、関係機関と連携したサポートを行います。

こども園の入園や、専門的な職種への相談を希望する場合の療育支援に関することに対応します。

また、就学後の悩みや思春期の変化に関する相談、依存症に関する相談など、保護者や子ども本人が困っていることについて話を伺います。

○ その他の相談機関

- ・北海道子ども相談支援センター（北海道教育委員会）
子育て・しつけなどの家庭教育や、いじめ・不登校などの学校教育の悩みについて、電話、メール、来所により相談ができます。



- ・親子のための相談 LINE（こども家庭庁）
子育てや親子関係に関する悩みについて、LINE により匿名で相談ができます。



- ・児童相談所相談専用ダイヤル
出産や子育てに関する悩みについて、電話で相談ができます。

☎ 0120-189-783